

平成30年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月14日(木)	午前	1	山本 知克 議員		○	
	午後	2	白井 丈雄 議員	○		
		3	樋浦 恵美 議員		○	
		4	小林 由明 議員		○	
15日(金)	午前	5	渡邊 雄三 議員		○	
		6	堀 勝重 議員		○	
	午後	7	齋藤 信行 議員	○		
		8	渡邊 広宣 議員		○	
		9	藤井 秀人 議員		○	
18日(月)	午前	10	山崎 光男 議員		○	
		11	山崎 雅男 議員		○	
	午後	12	埴 豊 議員		○	
		13	土田 昇 議員		○	
		14	柳川 隆 議員		○	
19日(火)	午前	15	宮路 敏裕 議員		○	
		16	タナカ・キン 議員		○	
	午後	17	吉田 勝利 議員		○	
		18	大岩 勉 議員		○	
		19	長井由喜雄 議員		○	

平成30年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	山本知克 (一問一答方式)	1. 介護予防について	(1) 事業の内容について	<p>①介護予防・生活支援サービスBについて、導入から一年を経過し、制度の活用状況や課題について伺う。</p> <p>②社会問題となる老々介護、高齢者が支え手側に回ることも多い。まちづくり協議会での助け合いも進むが、まだまだ少ないように思える。昨年度担い手の研修を行った結果について、今年度の予定や課題について伺う。</p> <p>③高齢者の運転免許返納が進む中で、通院や買い物支援にオンデマンドバス・きららん号がある。利用者から予約が取りにくいと増発が望まれている。介護予防の支援策として高齢者向けに増発は考えられないか伺う。</p> <p>④認知症やADLの低下等介護予防に関心を持たれ、全国的にも体操教室や、社会教育活動に参加される方も増加し、テレビや新聞などのメディアの報道も増えている。当市でも健康づくりマイストーリー運動・元気磨き隊・レインボー体操では多くのアクティブシニアの参加を見るが、参加者の健康意識や介護予防としての成果について伺う。</p>
		2. 燕市史から	(1) 産業の歴史を子ども達にもわかりやすく	<p>①燕市史を読んだが、内容やボリューム記述など専門的で難しい。鍮起銅器から金属洋食器の移り変わり、加工技術の進歩、先人の努力と商品開発、現在につながる製品の移り変わりや、金属産業の町として道筋を見ることができる。これら誰もが見てもわかる「子ども達にもわかりやすい」史料を作れないものか伺う。</p> <p>②集団就職先として関東ではなく、県内から燕市へ就職された方も多いたとも聞くが、労働時間が一日に10時間を超え日曜の休みも隔週、労働災害も多かったとの記録がある。このような苦労の末に往時の繁栄をみるが、歴史的背景を含め、よりわかりやすい史料を作れないものか伺う。</p>
		3. 市民生活の安全について	(1) 犯罪と消費者保護	<p>①特殊詐欺の被害が絶えず、新聞報道でも被害を伝える記事を見る。ホームページでも被害や不審情報についての掲載があるが、高齢者に高額被害が多い。</p> <p>これまでも被害防止の為周知活動として回覧板などで防犯のPRチラシを見かけるが、敬老会や人の集まるイベントでPRについて検討できないか、被害防止策としての方向性を伺う。</p> <p>②局番なし188、消費生活相談窓口の受け付けでは、昨年度はどのような相談があり、件数はどのくらいだったのか。強引な売り込み、詐欺まがいの迷惑電話や葉書で困っているなどの相談も受けるが今後の啓発活動について伺う。</p> <p>③特殊詐欺被害防止に効果の認められている通話録音機能付き電話の貸し出しと、対象者にアンケートをお願いしているが、事業も終了し、アンケートの検証結果や総括について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	山本知克 (一問一答方式)	3. 市民生活の安全について	(2) 事前登録型本人通知制度の普及啓発について	① 県内での導入も進む本人通知制度だが、3月導入から市民の住民票不正請求登録者数はどうか。 就職や結婚対象者を調べるために、不正取得で検挙された事例もあり、今後より多くの方へ登録を勧める必要があるが、職員への研修はされたのか。犯罪防止のために制度の周知を図り、登録を進める上での方向性を伺う。
2	白井文雄 (一括質問一括答弁方式)	1. 総務行政について	(1) 精神障がい者雇用について	① 市役所の精神障がい者の雇用数と法定雇用率はどれくらいか。 ② 雇用の周知について。 ③ 精神障がい者等への差別、及び合理的配慮は万全か。
		2. 土木行政について	(1) 除雪対策等に係る建設業を取り巻く問題について	① 今冬の除雪用機械は充足しフル活用されたのか。 ② 建設業者への除雪委託料の額は妥当なのか。 ③ 市内企業育成、貢献という観点から、市の入札参加資格審査規程は適切なのか。 ④ 地下水汲み上げポンプの処置について。 ⑤ 道路の維持修復について。
		3. 教育行政について	(1) 粟生津小学校大規模改造における諸元について	① プールの改装はなぜ行わないのか。 ② 屋上防水工事の種類は何で、どのように工事を行うのか。 ③ 障がい者及び社会的弱者への対策はどうか。
		4. 水道行政について	(1) 平成30年度予算執行等に係る諸元及び降雪対策について	① 新年度予算における水利権申請量と基本設計、実施設計等について。 ② 浄水場動力費の運用について。 ③ 今冬の降雪による水道管凍結被害状況と対応について。 ④ 昨年度に実施したボーリング調査について。
			(2) 石綿管更新事業について	① 石綿更新管の総延長と年度末の残存延長。工期の見通しについて。 ② 石綿管による障害と撤去作業について。 ③ 管路更新に係る統合浄水場建設に伴う宅内管の更新啓発について。
3	樋浦恵美 (一問一答方式)	1. 公用車へのドライブレコーダーの設置について	(1) 公用車へのドライブレコーダーの設置について	① ドライブレコーダーは、安全対策と万が一の事故対策としての役目を果たすものである。 近年、あおり運転の被害や交通事故に遭遇した際の映像が証拠になるなど、一般車両にも普及が進んでいる。公用車へのドライブレコーダーの設置は移動可能な防犯カメラとして非常に有効であり、すでに導入している自治体もある。また、公用車を運転する職員の安全運転の意識を向上させる効果もあると考える。公用車へのドライブレコーダーの設置について、市の考えを伺う。
		2. 子どもの成長支援について	(1) 子どもの成長支援について	① 市民厚生常任委員会の行政視察で、東京都・江戸川区の子どもの成長支援事業についてお話を伺った。 その中の2つの食の支援として、食事支援ボランティア派遣事業「おうち食堂」と、子ども配食サービス事業「ごはん便」という2つの事業は、良い事業であると痛感した。燕市においても、このような取り組みができないか、考えを伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	樋浦 恵美 (一問一答方式)	3. ひきこもり支援について	(1) ひきこもり支援について	<p>①厚生労働省は、ひきこもりを「さまざまな要因の結果として、社会的参加を回避し、原則的には6カ月以上にわたって概ね家庭に留まり続けている状態」と定義している。</p> <p>近年ではひきこもりの高年齢化が進み、NPO法人「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」の調べによると、ひきこもり始める年齢が横ばい傾向にあるものの、平均年齢は上昇傾向にあるとしている。</p> <p>燕市における40歳以上のひきこもり対応について伺う。</p> <p>②5月30日付の新潟日報に、ひきこもり当事者の自立を支援する「市ひきこもり支援センターを柏崎市が開設した」との記事が紹介されていた。</p> <p>燕市においても、当事者や支える家族のケアのため、ひきこもり支援センターの開設を検討していくべきではないかと思うが、市の考えを伺う。</p>
		4. 食品ロス対策について	(1) 食品ロス対策について	<p>①平成29年9月定例会において、食品ロス削減について質問をし、当局からは「家庭・飲食店における食品ロスの削減とごみの減量化に向け、今後具体的内容を詰めてまいりたいと考えている」との答弁があった。</p> <p>その後、どのような検討がされたのか伺う。</p>
4	小林 由明 (一問一答方式)	1. 都市計画について	(1) 都市計画道路について	<p>①都市計画道路の廃止継続等の進捗状況を伺いたい。</p> <p>②都市計画道路の建築規制が及ぼすまちづくりへの影響をどのように考えているのか。</p> <p>③廃止予定の路線については速やかに廃止し、その後のまちづくりを進めるべきではないのか。</p> <p>④廃止後の規制がどのようになり、どのような不動産の利活用ができるのか、路線住民を含め、講演会やワークショップ等開催していただきたいがいかがか。</p>
			(2) 朝日大橋開通後の交通安全対策について	<p>①朝日大橋開通後の車両の流れの変化をどのように想定しているか。</p> <p>②燕東郵便局前交差点は、通学路にもかかわらず現在でも交通事故の発生が続き、地域住民からさらなる交通安全対策を求める署名が提出されている。</p> <p>朝日大橋開通後は通行量に顕著な影響が出るものと想定されるが、より効果的な交通安全対策を講じる必要性について、どのように考えているか。</p> <p>③燕東郵便局前交差点の交通状況や市民生活に大きな影響を与える「一般国道289号燕北バイパス」について、市としてその進捗状況をどのように受け止めているか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 産業の振興について	(1) 中小企業の設備投資を促す制度について	<p>① 「生産性向上特別措置法案」の成立を受けて、国では追加の申請受付があるかと思えます。積極的に制度の活用推進を図るべきと考えますが、本市の見解を伺う。</p> <p>また、我々公明党として全国で100万人訪問調査アンケートを4月から展開していますが、本市で行った中小小規模事業者へのアンケート、中間のまとめでは、さまざまな支援策がある中で「支援策を利用したことがない」が全体の30%で、更にその半数が「そもそも制度を知らない」という結果でした。本市として、対象となる中小企業者に対して、このことをどのように情報提供していくのか伺う。</p> <p>② 固定資産税をゼロにした場合、想定する企業数と固定資産税の額、また、その影響力について伺う。</p> <p>③ 「ものづくり・サービス補助金」は申請の締め切りが4月27日、「持続化補助金」は5月18日でした。また、「サポイン補助金」は5月22日、「IT導入補助金」は6月4日が締切日でした。</p> <p>それぞれの補助金について、本市においては何社の中小企業者からの申請があったのか伺う。また、本市として、対象となる中小企業者に対して、このことをどのように情報提供したのか伺う。</p> <p>④ 中小小規模事業者は、年率3%以上の労働生産性の向上を見込む「先端設備等導入計画」を作ることになっていますが、その誘導をどのように考えているか見解を伺う。</p>
			(2) 企業立地促進について	<p>① 農振除外の認可には、農地転用許可権者の県の同意を得ることが必要となっていますが、この手続きに長時間必要なことを原因として企業進出を断念するケースが度々あり、企業誘致の支障となっているが、市長の見解と今後の対応策についてどのように考えているのか伺う。</p>
		2. 児童生徒の安心・安全な教育環境について	(1) 地域ぐるみの登下校時の安全な体制づくりについて	<p>① 菅官房長官は、登下校時の子供の安全確保に向け、通学路の点検や不審者情報への迅速な対応、安全対策の強化などを指示されたが、教育委員会としてどのように対応されたのか伺う。</p> <p>② 「パトロールの実施や防犯ブザーの活用などの取り組みを推進するように指示」とあるが、教育委員会としてどのように対応していくのか伺う。</p> <p>③ 下校時の見守り体制については、事業者と協定を結んでいるところもあると思うが、事業者数と関係機関の件数を伺う。</p> <p>④ 今後拡充すべきと考えるが、教育委員会の考えを伺う。</p> <p>⑤ 各小学校区はどのように体制が整備されているのか伺う。</p>
		3. 地域防災について	(1) 総合防災訓練について	<p>① 総合防災訓練の規模と概要を伺う。</p> <p>② 新たに取り入れる訓練はあるのか、あるのであれば、実施内容と目的について伺う。</p>
			(2) 地区防災について	<p>① 地区防災力向上が求められているが、現状と課題について伺う。</p> <p>② 災害時、女性の視点は災害対応にとって非常に重要であり、今後、人材育成が必要であると考えます。今年度、女性防災リーダー養成講座がスタートしたが、手応えと、研修終了後の活躍の場についてどのように考えているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 行財政運営について	(1) 自主財源確保に向けた方向性について	全国的に人口減少のあおりを受け、今後国からの交付金や補助金等の特定財源が削減され、従来の依存財源に頼った財政運営が厳しくなるのではないかと危惧しているところであります。 ①モノづくりのまち燕市を活かした財源確保として、企業誘致等も重要であると考えているが、方策について市の見解を伺います。
		2. 安心安全なまちづくりについて	(1) 中ノ口川の洪水対策について	平成 29 年 9 月議会において、中ノ口川の河川区域内における雑木の伐採処理等について、山形県河川国道事務所での取組みを一例にあげ、質問をさせていただきました。 ①その後の市内河川区域内の樹木伐採について、管理者である新潟県との連携状況や取組みの進捗について伺います。
		3. 高齢者・障がい者福祉の充実について	(1) 在宅介護の推進における補助事業について	平成 30 年 3 月議会において、燕市の今後の高齢福祉対策、取組み、ビジョン等について伺ったところ、当局から「引き続き介護が必要な状態となっても、住み慣れた地域で可能な限り安心して暮らし続けることができる、地域包括ケアシステムの更なる構築を進めていく」といった答弁がありました。 今後、安心安全な在宅介護を進めていく上で、現在、スマートフォンのアプリを活用し、容易に状況確認が遠隔操作で可能となるツールがあります。このようなツールを活用することで、安心して家族が見守れるよう在宅介護の推進を図っていく必要があると考えているところであります。 ①ネットワークカメラ等の設置への取組みと助成について、市の考えを伺います。 ②在宅生活をしている寝たきりの高齢者や、障がい者の方が外出するために必要な車いす仕様等の車両の購入、または、改造に要する費用の一部を補助するための「介護用車両購入費等補助金制度」の創設をしてはどうか、市の考えを伺います。
7	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 市政について	(1) 市長の 3 期目について	①市長は、今回 3 期目の当選をされました。キャッチフレーズは、「やるぞ！燕進め！未来へ」という。公約の中では、まず 1 番に人口を増やすための取組みを掲げていますが、3 期目でやり遂げたいこと、また、方向付けたいこと等をお伺いします。 ②公約の中で 2 番目に掲げている、次の世代へバトンを渡すための取組みについて伺います。 ③ 3 期目の当選、改めて市長の思いを伺います。
		2. 公共交通について	(1) 通学について	①市内にある公共交通、電車、バス、市の循環バスなどを含めた中で、市内の高等学校への通学の利便性などはどのようなものか伺います。 ②市内にある公共交通を利用した場合、市内市外の学生が市内の高等学校への通学に、どのような課題があるのかも伺います。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	3. 各課の連携について	(1) 定住施策について	①今回、総務文教常任委員会で行政視察で伺った出雲市では縁結び定住課という課があり、その中で「出雲の真のブランド化事業」として縁結び定住施策を各課で連携して実施していましたが、本市の状況、今後の定住、人口増への方向性について伺います。 ②各課の連携と市民への周知の取り組みについて伺います。
8	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 人口減少社会について	(1) 人口減少社会において自治体のやるべき施策について	①人口減少社会の基本的認識を伺う。 ②国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を基に、行政サービス総量推計と施策をどう構築すべきか伺う。 ③基礎自治体としての燕市と、広域連携を図るべき行政サービス施策のあり方を伺う。
			(2) 燕市公共施設等総合管理計画について	①現在の進捗状況と見通しについて伺う。
		2. 産業政策について	(1) 産業への補助金について	①直近3カ年の業種別補助金総額と、その結果派生した雇用、売り上げの推移を伺う。 ②直近3カ年の商店街の補助総額(空き店舗対策を含む)と売り上げの推移について伺う。 ③上記2点を踏まえ、今後取り得るべき施策(活性化策)を伺う。
		3. 職員の能力改善について	(1) 職員の能力改善について	①年間、一職員当たりの研修日数(階層別)と、研修後の評価体制について伺う。 ②自治体職員とパラレルキャリアの考え方について伺う。 ③昇任について研修回数・評価の基準を伺う。
9	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 燕市の農政について	(1) 今後の農政の取り組みについて	①平成30年産からコメの生産数量の配分が廃止されるなど、大きく農業情勢が変化している。新年度、新たな取り組みもあるが、今後を見据えた農政全般の考え方を改めて伺いたい。 ②新規、継続事業も含め、申し込み状況、農業者の反応はどのように認識しているのか伺いたい。 ③今年の生産目標数量は去年と比べて677トン増となっているが、春の作付状況から見て目標どおり推移しているのか、数量増加分の対応は考えられているのか伺いたい。 ④平成30年度から交付金、市からの助成金も廃止となったものもあるが、今後の対応はどのように考えているのか伺いたい。
		2. 公園の利用管理について	(1) 地域にある公園管理について	①各自治会内にある公園管理は、現在どのようにされているのか伺いたい。 ②地域によっては高齢化も進み、管理が行き届いていないところもでてきたと聞くが、活用も含めどのように考えているのか伺いたい。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	藤井 秀人 (一問一答方式)	2. 公園の利用管理について	(2) 分水さくら公園について	<p>① 分水さくら公園の今後の活用、発信の考えはあるのか伺いたい。</p> <p>② 交通のアクセスも悪く、分かりづらいと聞くが、誘導のための道路整備も含め、対応は考えられているのか伺いたい。</p> <p>③ 遊具も充実し、公園整備もされているが、全体の公園整備は完了したのか伺いたい。</p> <p>④ 平成23年に個人寄付により植樹された樹木も枯れたものも出てきているが、今後も市が責任を持って管理されていくのか確認も含め伺いたい。</p>
10	山崎 光男 (一問一答方式)	1. マラソンイベントによる燕市の活性化策について	(1) 大河津分水さくらマラソン大会(仮称)を成功に導く、総合的な方策について	<p>① スプーンやフォークなどの金属洋食器を参加賞の一つにししたり、エイドステーションに本町きゅうりやハウストマトなど、四季の野菜や果物を置いたりして、全国からの参加者にもものづくりや食のまち「つばめ」をPRしてはいかがか。</p> <p>② ハーフ部門の新設により、マラソンの申込者数がこれまでより格段に増えることが予想される。大会会場の仮設トイレと駐車場の確保についての考えを伺う。</p> <p>③ 多くのマラソン大会の会場には、体育館などの広い屋内スペースがある。雨天時に備え、大型テントを張るなど十分な対策を取って欲しいが考えを伺う。</p> <p>④ この大会が行われるのは4月中旬であることから、当日は暑くなることも考えられる。今年4月に佐渡市と見附市で行われたマラソンでは、合わせて7人が救急搬送された。AEDを準備し、さらに医療資格を持つメディカルランナーを募集してはどうか。</p> <p>⑤ 大会公式ホームページを新たに作ったり、昨今のマラソン大会で導入が相次ぐ、公式SNSアカウント(Facebook、Twitter 及び Instagram)を開設したりして、全国のランナーに大会の魅力を発信してはいかがか。</p> <p>⑥ 今後より良い大会にするために、参加料や参加賞、制限時間や給水所、トイレや駐車場、コース全体、スタッフやボランティアの対応、当日販売するアスリート弁当等々、大会運営全般について、参加者から広くアンケートを取り、次回開催に生かしてはどうか。</p>
			(2) 分水おいらん道中や、燕市内の観光地・飲食店との連携について	<p>① このマラソン大会は、分水おいらん道中の前日に行われることが決まっているが、特に県外から来たマラソンの参加者に周辺の宿泊施設に泊まっていただき、翌日の燕市最大のイベント、おいらん道中も見てもらうために、この2つのイベントをどう連携させていくか、市の考えを伺う。</p> <p>② 参加者への配布物の中に、道の駅や産業史料館などの観光パンフレットを封入したり、大会プログラムに燕市内の飲食店を掲載したりして、市内の観光地・飲食店へ誘客を図れないか。当局の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	山崎光男 (一問一答方式)	2. 有権者に対する選挙運動の周知啓発について	(1) 学校での出前授業や模擬選挙について	①2016年に「18歳選挙権」が導入されて2年が経とうとしている。若者の政治への関心を高め、投票率アップを図るために、この間燕市では6回、小学校と高校で選挙の出前授業が行われた。今秋の燕市議会議員選挙や、来春の統一地方選挙に向けて、今後も継続して行ってはどうか。考えを伺う。
			(2) ネット選挙について	①2013年にインターネット選挙運動は解禁され、今回の知事選でも候補者や有権者が、多くのSNSを活用した選挙戦を展開した。一方、LINEやTwitter、Facebookのメッセージ機能などでの投票呼び掛けやシェア・リツイートはOKだが、候補者本人や政党以外の電子メール送信・転送はダメなど、制度の分かりにくさが度々指摘されている。市民への十分な周知が欠かせないと思うが、広報やホームページ等で取り上げてはどうか。考えを伺う。
11	山崎雅男 (一問一答方式)	1. 今冬の除排雪対策の検証と将来に向けての備えについて	(1) 2月5日～13日の9日間の除排雪の検証について	① 2月5日～13日の9日間での短期間に降り積もった記録的な大雪は、交通機関等に市民生活が混乱したが、現在の除雪体制を検証して将来に備えた対応策の取り組み、見解を伺う。 ② 今回の大雪における除雪に係る重機の稼働状況はどうであったのか、また、除雪車両の性能整備状況はどうであったのか伺う。 ③ 除雪をより効率的に行っていくためには、委託業者、地域との連携等が必要であり、初動体制を充実させることが極めて重要かと思われるが、どうであったのか伺う。 ④ 除雪委託業者は、事前に担当道路パトロール降雪状況を確認し、除雪を通勤・通学の時間まで必ず間に合わせることを心掛けている。オペレーターは深夜から準備に取り掛かり、オペレーターの人件費、除雪車両の維持管理、リース料等は間違いなく発生するが、市としての委託業者への対応はどうか伺う。 ⑤ 除雪は交通を円滑にするほか、緊急時等や市民生活をスムーズに行うために重要である。今冬の2月5日～13日の9日間の大雪における救急車等の出動状況はどうであったのか伺う。また、高齢者世帯、障がい者世帯に対してどのような対応がなされたのか伺う。 ⑥ 2月5日～13日の9日間での除排雪の対応策はどうであったのか伺う。
		2. 種子法廃止に伴う市の認識と生産農家への影響について	(1) 種子法廃止に伴う市としての働きかけについて	①2018年4月に種子法は廃止。種子法は昭和27年に都道府県が、日本農業・食料を支えてきた主食であるコメ・麦・大豆を主要作物として、国が優良な種子を生産、普及するための法律として制定。 都道府県はそれぞれの県にあったコメなどの品種を農家に安価に提供。種子法の果たしてきた役割と種子法が廃止されることによる市の認識と生産農家への影響に対して見解を伺う。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	山崎 雅男 (一問一答方式)	2. 種子法廃止に伴う市の認識と生産農家への影響について	(1) 種子法廃止に伴う市としての働きかけについて	<p>②種子法の廃止は、国が主要農産物の良質な種子を供給する責任放棄にも受け取れる。 長期的にみると、食料安定供給への不安、種子価格の高騰、特許化、企業による食支配等維持されてきた種子法の主要農産物の品種多様性縮小が懸念されるが、市としての捉え方と今後の動向を伺う。</p> <p>③種子法の廃止と同時に成立した農業競争力強化支援法の成立についての捉え方について伺う。</p>
		3. 減反政策廃止に伴う生産者農家の取り組みについて	(1) 農業の根幹である米作農家の現状と今後について	<p>①平成30年産米から生産数量目標配分が廃止。県が独自に強制力は弱いものの、一応生産目安となる数字を市町村に提示し、それを踏まえて市町村が生産者農家に示す仕組みがされたが、生産目標状況について、全国735万トン・新潟県44万トン・燕市2万336トンで燕市前年差677.37トンの増で市の生産目標は前年比で約3.4%増加である。 水稲作付け目標面積率65.47%・転作実施面積率34.53%であるが転作に対する市の捉え方と転作実施状況について伺う。</p> <p>②農家の主体的な生産拡大は限定的で、減反廃止後も生産抑制を優先する姿勢が浮き彫りとなり、主食用米の消費量が年間8万トンペースで減少しているともいわれている。その中で、生産量を絞るだけの従来の減反では、農家収入は縮小する一方であると思われる。 国は減反廃止で不足している業務用米・飼料用米や大豆等への転作を促し、農家の経営改革に繋げる狙いがあるが市としての見解を伺う。</p>
12	埴 豊 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(1) 地方交付税と臨時財政対策債について	<p>①近年の地方交付税の推移と臨対債の推移が及ぼす影響について</p> <p>②増加し続ける臨対債とその償還について</p>
			(2) 少子高齢化の影響について	<p>①増加し続ける民生費と社会保障関連経費の見込みについて</p> <p>②生産人口の減少が及ぼす影響について</p>
			(3) 新たな投資を産み出す財源確保について	①新たな投資を産み出す財源確保について
		2. 街中のにぎわい創出について	(1) 旧燕市街のまつり(戸隠神社祭礼)について	<p>①燕市の無形文化財へのその後について</p> <p>②今後の活性化のための取り組みについて</p>
			3. 教育問題について	(1) 教育現場での課題について

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
13	土田 昇 (一問一 答方式)	1. 子どもの 貧困対策に ついて	(1) 子どもの貧 困で具体的な 対応について	<p>①子どもの貧困が大きな社会問題となり、その改善を求めめる対策等々が新聞、テレビで報道されているが、私も過去2回一般質問として取り上げてきました。</p> <p>市としても昨年の11月に大変な努力をされて、ひとり親家庭や就学援助受給世帯への<u>必要な支援策等を検討するため</u>、生活状況や困りごとなどの具体的なニーズを把握する目的で、アンケート調査を実施されました。その結果どのように分析され<u>必要な支援ができるのか</u>、対応されていくのか、市長の見解について伺う。</p> <p>②東京都江戸川区の(子育て支援事業)(実態把握のための調査)の中で</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 学習面での課題 ※ 子どもの日常に関する課題 ※ 保護者の日常に関する課題 ※ 経済面での課題 <p>について参考にするところが多々あると思う。実施できる部分について検討されるべきと思うが市の考え方について伺う。</p> <p>③就学援助について教育委員会の中に専任の担当者が配置されているか伺う。</p> <p>④学校給食の月額平均(小学校、中学校)はどのような金額か伺うと同時に、給食費の未納状況についても伺う。</p>
		2. 農業問題 について	(1) 今年度の作 付状況につ いて	<p>①今年度より減反が廃止されたが、「地域農業再生協議会」が設定した生産目標が52万4千トンと報道されている。燕市としても2千336トンと示されたと思うが、今年度の作付状況からしてどのようになっているか伺う。</p> <p>②価格保障と所得補償を国に強く求めていかないと大規模経営者や個人の農家経済が厳しくなると思うが、市の対応について伺う。</p>
		3. 下水道整 備事業につ いて	(1) 来年度の予 算はどの なるか	<p>①市は合併浄化槽で整備する区域について、単独浄化槽や汲み取り式トイレから早く転換してもらおうよう、設置工事費の補助制度を検討していると報道された。市は県との調整や市民の意見を反映させて構想案をまとめ、今年に構想を公表、来年度以降に整備を始めるとされているが、下水道の整備地域と合併浄化槽の補助金の見込等々も含めて伺う。</p> <p>②燕地域、吉田地域、分水地域の普及率も確認します。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 人口問題のこと(第2次総合計画を含む)	<p>①ある人口問題の研究機関の発表によれば、今世紀末にはこの国の人口は5千万人を切るという予測があるが、このことに対する見解と原因は何か、について伺う。</p> <p>②上記の予測は現在の人口の6割減であり、これを県に当てはめれば新潟県の人口は90万人、近隣の5市町村(弥彦村、燕市、三条市、加茂市、田上町)の合計が91,000人となる。その中での燕市の人口は32,000人。本市の第2次総合計画では、計画の最終年度の平成34年、社人研推計75,571人に対し、目標人口が78,000人となっている。この約2,500人の差の根拠について伺う。</p> <p>③第2次総合計画では、自然動態(出生数)と社会動態(転入転出数)の文言の末尾が、共に維持することを目指します、となっており、交流人口の説明は、増加させることを目指します。住みやすさ、居住意向が、共に上昇させることを目指します。で終わっているが、この5項目のそれぞれの根拠について伺う。</p> <p>④活動人口戦略の冒頭の説明で、活動人口の増加とは、市民の一人ひとりが主役となって行動し、光り輝く人を増やすことです、とあり大見出しで「キラキラ輝く人を増やす」と記されている。この文言からでは、主役となって行動するとキラキラ輝く人となる、という解釈になるが、その実数の把握の仕方について伺う。</p> <p>⑤交流人口の説明で、平成31年の観光客入込数を平成26年に比べて1割増の77万人に、さらに観光交流拠点の開設等により、平成34年には90万人に増加させることを目指します。とあるが観光交流拠点の開設は計画より遅れるのではないか、その穴埋めはどうするのか伺う。</p>
		2. 総務関係について	(1) 職員の能力向上事業等のこと	<p>①今年度予算の人事厚生研修費の中に、将来の燕市役所を担う職員の人材育成や、外部講師を招いての庁内研修として、7,124,000円が組まれているが、その内訳について伺う。</p> <p>②同じく、多様な人材確保のため、県内企業等が多数参加する合同企業ガイダンスに参加したり、さまざまな職種の採用試験を実施したりするために組まれている3,246,000円の内訳について伺う。</p>
15	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 児童・生徒の安全対策について	(1) 通学路の安全対策について	<p>①今冬の豪雪経験を踏まえ、積雪時の通学路確保について、課題と対策の現状認識について伺う。</p> <p>② 強風の際の防護柵の有効活用について認識を伺う。</p>
			(2) 地域における安全対策について	<p>①市街地道路での交通事故防止のために、飛び出し注意喚起の必要性について認識を伺う。</p> <p>②新潟市西区で発生した小学2年生児童殺害事件を踏まえ、本市における事件の受け止めや防犯の対策について伺う。</p> <p>③公園遊具の安全対策のための定期点検の実施状況について伺う。</p>
		2. 産業振興について	(1) 住宅リフォーム助成事業について	<p>①本事業は景気の長期低迷の下、住宅関連事業者の受注喚起の一助として、市内業者を支える景気対策を目的とした事業と捉えるが基本的認識を伺う。</p> <p>②本年度の実施状況について伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	タナカ・キン (一問一答方式)	1. ジャパン・ツバメインダストリアルデザインコンクールについて	(1) 審査委員の選考について	①このコンクールは、燕ブランドの確立と、より良い商品供給を通じて豊かな生活文化の資質向上に貢献することを目的に、1978年から毎年実施していて今年で41回開催されています。 合併後、私は産業建設常任委員会に計10年間所属していますから、その都度デザインコンクールの授賞式に出席しています。今年の審査員の顔ぶれを見ますと、審査委員長や副委員長などの専門家と言われる人達があまり変わっていないように思いましたが、審査委員に任期があるか伺います。 ②審査委員長等、主な審査委員の年数について伺います。
		2. 市の広報について	(1) 外国人、障がい者に優しい取り組みについて	香川県の高松市は今年度、英語や中国語、韓国語など8カ国9言語の自動翻訳や音声読み上げ機能に対応した電子書籍版「広報たかまつ」の配信を開始しています。燕市でも検討されたいと思いますので伺います。 ①市内の企業には多くの国の人々が働いてもいます。現在、市に登録されている外国人の国籍について伺います。国名を全て挙げて下さい。 ②合計人数も伺います。 ③①②を踏まえて、現時点での広報の取り組み方針を伺います。
		3. 道の駅「国上」について	(1) 平成29年度の物販と食堂の売上について	昨年4月1日のグランドオープンから1年が経過しました。平成29年度の指定管理料は、物販・食堂の売上げを平成28年度との比較で60%増を見込んで算定しています。 ①平成29年度の物販・食堂それぞれの売上金額と、前年度対比で何%だったのか伺います。 ②物販・食堂の売上金額の合計と、前年度対比について伺います。 ③この結果についての市長の感想を伺います。
			(2) 指定管理者の選定について	①選定時の評価項目で物販・食堂の管理・運営に関して評価された点について伺います。
			(3) 稼げる施設にするためにについて	①一般的に、新しい施設がオープンしたときの売上金額は、初年度より2年度、2年度より3年度が落ち込むといえます。観光振興というのは簡単ではありません。施設内のレイアウトやディスプレイ、また、時間をかけてアピールできるお土産や食事のメニューを開発していく必要があります。 平成29年度と比較して今年度改善した点を伺います。
		17	吉田勝利 (一問一答方式)	1. 新商品新技術開発支援事業について
2. ジェネリック医薬品希望カードとお薬手帳について	(1) ジェネリック医薬品を希望しますというカードとお薬手帳について			①ジェネリック医薬品を希望するカードの普及状況について。 ②お薬手帳を調剤薬局に行くと提示すると、どのようなメリットがあるのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 選挙公約3期目に向けてについて	①市長選挙でのスローガン「やるぞ!燕進め!未来へ」の主な重点施策はどのような考えなのか伺う。 ②選挙期間中では個人演説会を多くの会場で開催予定が中止となり、直接市民と話す機会がなくなりましたが、市長としてはどのような心境か伺う。
			(2) 市長ふれあいトークについて	①各会場の参加者数はどうだったのか。市長が思っていたより少なかったのか多かったのか伺う。 ②各会場での主な質問は、どのような意見が出されていたのか伺う。 ③今年度はまちづくり協議会様との共同開催とあるが、燕北地区まちづくり協議会が日程になかった理由を伺う。
		2. 防災対応について	(1) 気象台が行う市町村の防災対応支援について	①気象庁が、地方気象台の業務や体制の見直しを検討していることは把握されているか伺う。 ②気象台と市町村の連携をより密にし、災害への危機管理を共有できる関係づくりを強化するとあるが、防災主幹は把握されているのか伺う。 ③見直しでは業務を一人で担えるようにし、市町村支援作業の体制強化とあるが、燕市としての取り組みを伺う。
		3. ふるさと燕応援寄付金について	(1) 寄付金の総額について	①平成27年度・28年度・29年度の総額を伺う。
			(2) お礼品について	①ふるさと納税の健全な発展を目指す自治体が5月16日都内で会合を開きましたが、燕市は参加されたのか。参加されていれば会合の内容を伺う。 ②ふるさと納税を物品の返礼ばかりでなく、少子化対策に活用した結果人口増に結びついた事例があるが、燕市としても取り組む考えはないか伺う。 ③ユニーク返礼として帰郷困難な人への代行サービスとして、「お墓の清掃や手入れ」、「故郷に残る親の見回り」などをする自治体も増えているが燕市としての考えを伺う。
			(3) シルバー人材センターの運営活用について	①ふるさと燕応援寄付金を活用し、ライフスタイルに合わせた就業を提供するとともに、高齢化社会対策の活性化に貢献する事業と思うが燕市としての考えを伺う。 ②平成29年度シルバー人材センターの「会員数・総売り上げ」が前年度より下降状態だが、燕市として協力できないのか伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
19	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 新生児難聴検査助成制度の新設について	(1) 新生児難聴検査助成について	① 燕市でも出生児に新生児難聴検査を受けることを促しているが、自己負担となっている。現状を伺うとともに、誰もが費用面を気にせずに受けられる体制づくりを求める。
		2. 子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大を	(1) 助成年齢を拡大し、高校卒業までに	① 新潟県の助成もまだ低い段階にあるが、各市町村の努力によって高校卒業までの助成が主流となってきている。燕市においても少子化対策の一環として高校卒業まで拡大することを求める。
		3. 学校給食費の多子世帯助成について	(1) 多子世帯に対する学校給食費補助制度新設を	① 義務教育学校に通う児童生徒の中で、複数が在籍する世帯に対して学校給食の助成制度の新設を求める。
		4. 県立吉田病院の「現地」建て替えの要請を	(1) 県立吉田病院は移転新築ではなく現地建て替えの要請を	① この間県立吉田病院の建て替え問題では、燕市は弥彦村とともに「移転新築」を要望してきた。この要望に対する新潟県の考えはどうか。養護学校が併設されている病院の役割を考えても新築移転は可能性が低いのではないか。この際、「現地建て替え」を積極的に働きかけるべきではないか。